

## 官公署等から

**多摩川由来の崖線<sup>がいせん</sup>の緑の保全を考えるシンポジウム・ウォークラリーの参加者募集**

多摩川由来の崖線の緑を考えるシンポジウム

多摩川由来の崖線は、多摩川が南へと流れを変えていく過程で台地を削ってできた段丘崖の連なりです。延長約40kmに渡り、青梅市・羽村市・福生市・昭島市・立川市・国立市・府中市・調布市に跨るように存在しています。崖線には湧水や緑が多く、市街地の中の親水空間として市民の憩いの場となっており、また野鳥など多くの生き物の生息空間となっています。



▲根がらみ崖線

シンポジウムでは、崖線の緑の保全に向け「みんなでできること」について知識を深め話し合う「基調講演・パネルディスカッション」を行います。

▼日時 11月17日(土)午前10時～正午／会場 昭島市民会館・公民館小ホール／対象 高校生以上／基調講演講演者 安西英明さん(日本野鳥の会主席研究員)

ウォークラリー  
市街地の崖線に沿って、緑や湧水、生き物などが見られる場所を歩きます。観察ポイントでは、崖線の自然についての解説やクイズなどのイベントを行います。

特典として、ゴールでは認定証と苗木や巣箱、オペラグラスなどのプレゼントもあります。

▼日時 11月17日(土)午後1時～4時／対象 小学生以上(小学校3年生以下は、保護者の付添いが必要)／コース概要 拝島第四小学校付近～福生第五小学校付近(約2.5km)

※昭島市民会館からスタート地点、ゴール地点から拝島駅までは、無料送迎バスが

出ます。

共通

▼定員 200人(先着順)

／参加費 無料／主催 多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会／申込み 10月15日(月)～11月10日(土)に、「シンポジウムとウォークラリー参加希望・氏名・年齢・住所・電話番号」を記入し、ファクスまたはEメールで多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会事務局(株セルコへ

FA03-3406-1595  
✉kaisen@ml.sarco.co.jp  
※シンポジウムとウォークラリーのいずれかのみの参加希望の場合、その旨を記入してください。

※申込みをしていない方の当日参加はできません。

※募集要項について詳しくは、羽村市ホームページをご覧ください。

①問合せ 羽村市環境保全課 環境保全係 224

## 街頭労働相談を行います

東京都では、働く方・事業主・都民の方を対象として、街頭労働相談を行います。

賃金・労働時間・休日休暇・労働保険など労働条件に関することや、労使間のトラブルなどの相談に応じます。

そのほかにも、労働に関する各種資料を豊富に揃え、無料で配布します。ぜひ、気軽に利用してください。

▼日時 10月19日(金)午前11時30分～午後3時30分／会場 JR青梅線昭島駅北口モリタウ前通路／協力行政機関 立川労働基準監督署・立川公共職業安定所・立川年金事務所・多摩職業能力開発センター・東京しごとセンター多摩

※協力行政機関の相談員が相談を受ける時間は午後1時～3時30分のみとなります。

①問合せ 東京都労働相談情報センター国分寺事務所(澤田) ☎042-321-6110

## 東京都最低賃金改正

東京都の最低賃金(地域別最低賃金は、10月1日から時給額850円に改正されました。月給制・日給制・時間給制すべてに「時間給」が適用されます。

①問合せ 東京労働局賃金課 ☎03-3512-1614  
中小企業事業主向け ワン・ストップ無料相談

最低賃金総合相談支援センターでは、中小企業事業主向けに、最低賃金引上げに向けた無料の相談支援事業を行っています。

ぜひ、利用してください。

①問合せ 最低賃金総合相談支援センター ☎03-3543-6326



## 広域的市民ネットワーク活動等事業助成団体の募集

初めて助成を申請する団体・従来と異なる事業を申請する団体は、事前相談が必要です。

▼対象 市町村を越えて行われる多摩地域の市民交流やまちづくりの推進につながる事業（文化・スポーツ・環境・福祉・生涯学習・子育て・防災活動などの発表の場、調査活動など）／事前相談 10月25日（木）～11月9日（金）（土・日曜日を除く）／申請期間 今年度までに助成を受けていた団体：10月19日（金）～11月15日（木）、初めて助成を申請する団体：10月25日（木）～12月5日（水）（いずれも土・日曜日、祝日を除く）／助成期間 5年間（決定は各年度ごと）／助成率 助成対象事業費の50%（100万円を超える部分は10%）※詳しくは、問い合わせてください。

①問合せ（公財）東京市町村自治調査企画課 ☎042-382-7781 FAX 042-384-6057

## 施設から

### 東児童館

☎570-7751

スポーツの日々大縄跳びをしよう！

▼日時 10月24日（水）午後3時～4時／対象 小・中学生  
※直接東児童館へお越しください。



### 保健センター

☎555-1111（内627）

愛の献血にご協力を！

献血者の減少や、血液需要に季節的な変動があるため、一時的に血液が不足することがあります。皆さんの心温かいご理解とご協力をお願いします。

▼日時 11月16日（金）午前10時～正午、午後1時15分～4時

／会場 市役所正面玄関／対象 16～69歳の方（65歳以上の方は、60～64歳に献血の経験がある方）／内容 400ml、200ml 献血

※直接会場へお越しください。

### プレマサロン（母親学級）

妊娠、出産、赤ちゃんとの生活について話します。

▼日時 11月1日（木）・8日（木）・29日（木）（全3回）午後1時15分～3時45分／会場 保健センター／対象 市内在住の妊娠中の方／持ち物 母子健康手帳・筆記用具／内容 1日目：助産師による講座、2日目：産婦人科医・栄養士による講座、3日目：歯科医による講座、先輩ママとの交流

※直接会場へお越しください。  
※3日間の講座のうち1日だけの参加もできます。

※お子さんを連れての参加は、事前に相談してください。

### 四種混合ワクチン

従来の三種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風）に不活化ポリオワクチンを加えた四種混合ワクチンの定期

接種を、11月1日（木）から開始する予定です。

平成24年8月以降の誕生日の方に対しては、三種混合ワクチンの予防接種ではなく、ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオワクチンの四種混合ワクチンの定期接種となります。

予診票を乳児（3～4か月児）健診の案内に同封します。予防接種のお知らせを読んで、接種回数・間隔などを確認の上、予防接種の計画を立ててください。

※平成24年7月以前の誕生日の方のうち、三種混合ワクチンおよびポリオワクチンを1回も接種していない方は、四種混合ワクチンを受け取ることとなります。四種混合ワクチン導入後、母子健康手帳を持参して保健センターへお越しください。予診票を渡します。

### ご存知ですか 不育症

避妊していないのに2年以上妊娠に至らない不妊症に比べて、妊娠しても流産・死産・早産・新生児死亡を繰り返す

不育症についてはまだあまり知られていないのが実情です。

一般に妊娠の10～15%は自然流産になるといわれていますが、繰り返して起こる場合は不育症が疑われます。専門医を受診しましょう。

東京都では不妊や不育に悩む方を対象に、ピアカウンセリングや医師による電話相談を行っています。

▼受付時間 毎週火曜日午前10時～午後4時（祝日・年末年始を除く）  
☎03-3235-7455

そのほか、不育症患者の支援や啓発を行っている団体や、不育症の研究や専門医の紹介を行っている組織がホームページを開設しています。活動内容など詳しくは、それぞれのホームページをご覧ください。

■特定非営利活動法人 不育症友の会（通称：ハートビートくらぶ）

■厚生労働省研究班「フイクーラボ」